

その他水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上（「土砂災害警戒区域等マップ」、「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,327箇所
土砂災害特別警戒区域 : 19,778箇所
(令和5年3月末時点)

土砂災害防災訓練



垂水市

土砂災害に関する
出前講座



喜界町立早町小学校



志布志市



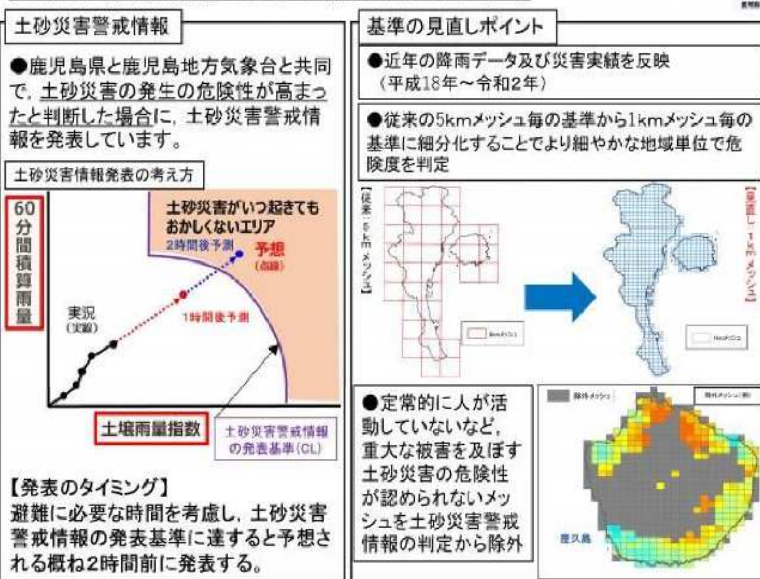
南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

土砂災害警戒情報の基準が新しくなります！



鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

災害リスクを考慮した立地適正化計画の検討【南さつま市】

○頻発化・激甚化する災害に対して、災害ハザードエリアにおける、開発抑制、立地適正化強化など、安心なまちづくりのための総合的な対策を講じる。

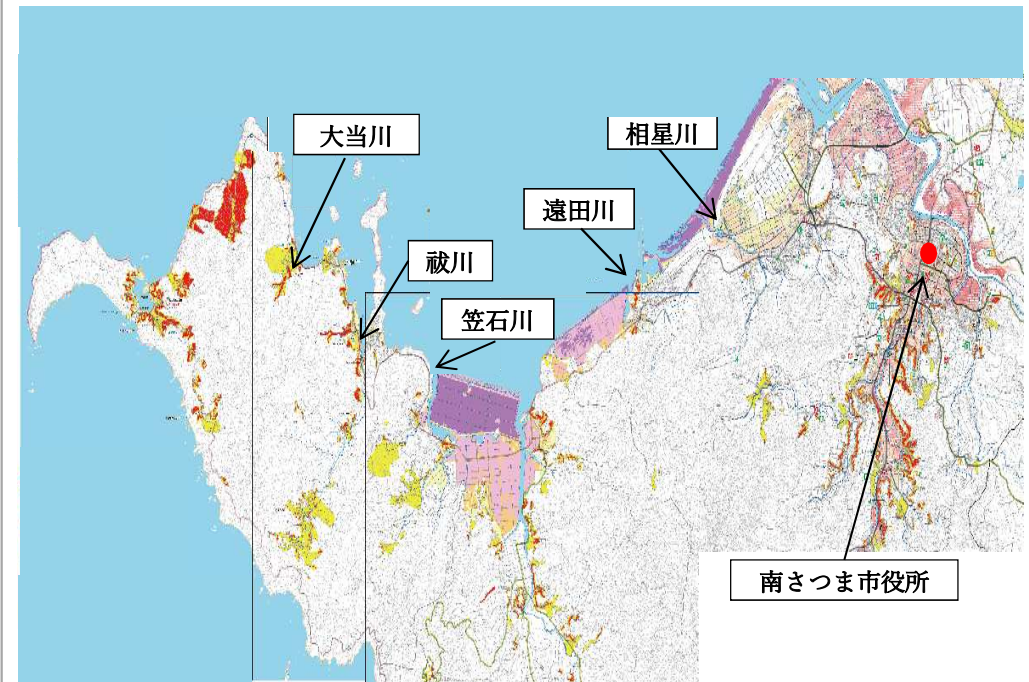
◆立地適正化計画の策定及び土地利用の規制・誘導

立地適正化計画の居住誘導区域内で行う 防災対策・安全確保策を定める。

「防災指針」の作成

- ・ 避難路、防災公園等の避難地
- ・ 避難施設等の整備
- ・ 警戒避難体制の確保

【都市再生特別措置法】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	災害リスクを考慮した立地適正化計画の検討	南さつま市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

立地適正化計画の策定及び土地利用の規制・誘導【南九州市】

・災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定

(立地適正化計画)

- ・都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランを作成。
- ・民間の都市機能への投資や居住を効果的に誘導するための土俵づくり

(策定内容)

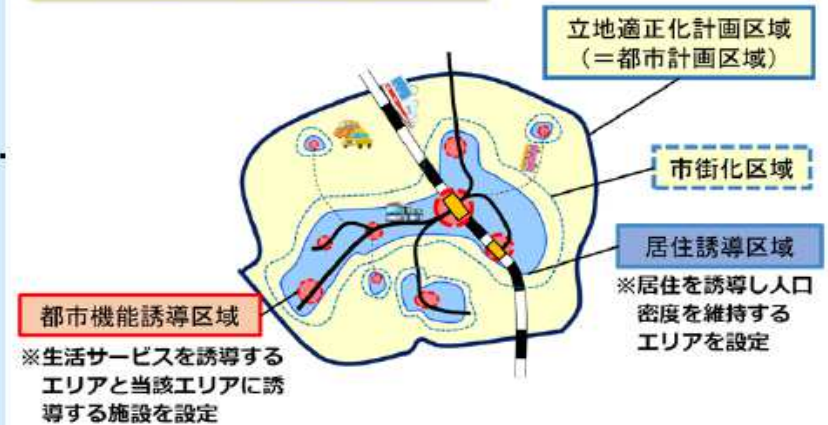
- ・居住機能を誘導する「居住誘導区域」や、都市機能（福祉・医療・商業等）を誘導する「都市機能誘導区域」等を定める。



(防災指針)

- ・災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定める。

立地適正化計画制度のイメージ図



・南九州市土地利用対策要綱における流出抑制の整備基準の整備に取り組む

【参考1：流出抑制施設のイメージ】



・イメージ図は鹿屋市土地利用対策要綱資料より転写

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへの誘導等	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定及び土地利用対策要綱における流出抑制の整備基準の整備	南九州市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定【指宿市】

○立地適正化計画の策定

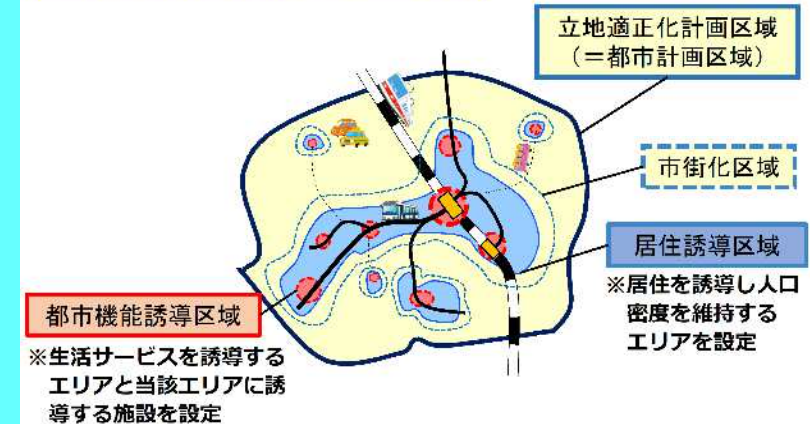
【概 要】

- ・都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープラン

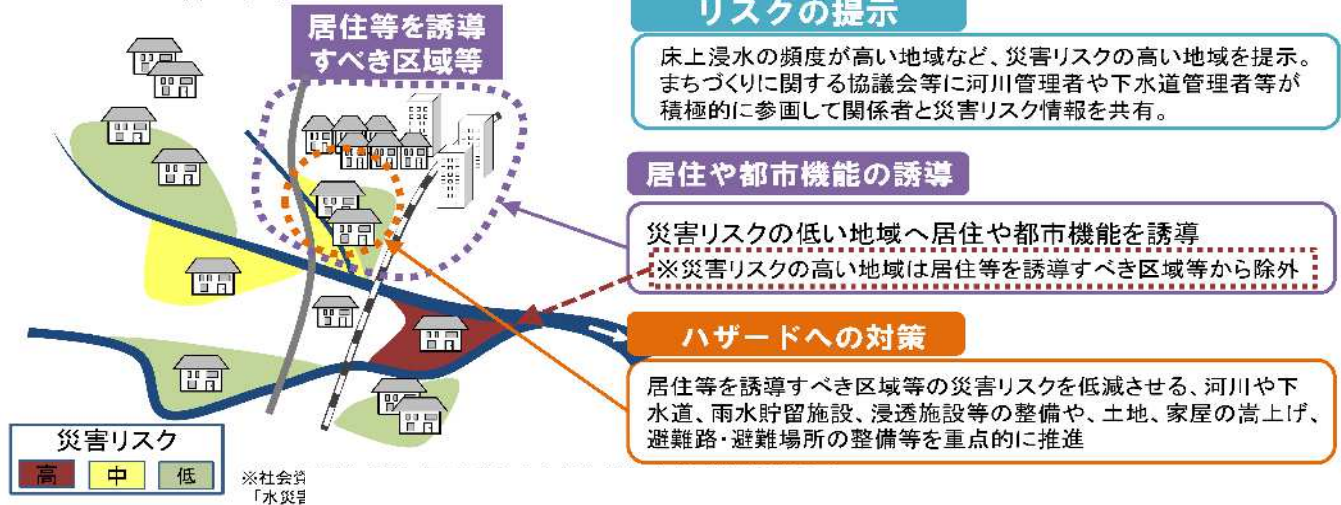
【内 容】

- ・居住機能を誘導する「居住誘導区域」や、都市機能（福祉・医療・商業等）を誘導する「都市機能誘導区域」等を定める。
- ・都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定め、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させる。

立地適正化計画制度のイメージ図



※気候変動の影響により近年頻発・激甚化する自然災害に対応するため、水災害リスクを低減させるための堤防、遊水地、下水道等のハード整備とともに、想定される災害リスクを分析し、まちづくりにおいて総合的な防災・減災対策を講じていく必要がある。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	災害リスクの低いエリアへの居住等を誘導	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定	指宿市			

その他水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供【鹿児島県】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・雨量計を設置しているところである。
下図のように南薩地区その他水系流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計も設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。



南薩地区その他水系内に設置されている各施設数
(R6.2末時点)

管 理 者	水 位 計		カ メ ラ	雨 量 計
	水 位 局	危 機 管 理 型		
鹿 児 島 県	—	1 2	—	7
気 象 庁	—	—	—	—
合 計	—	1 2	—	7



簡易型河川監視カメラ



危機管理型水位計

南薩地区その他水系流域における水位計・監視カメラ・雨量計の位置図



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供	鹿児島県			

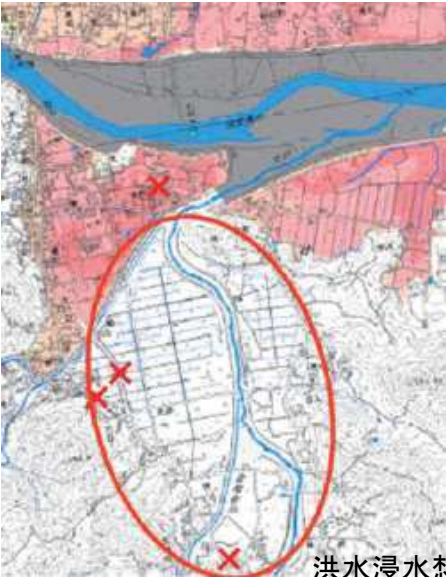
その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

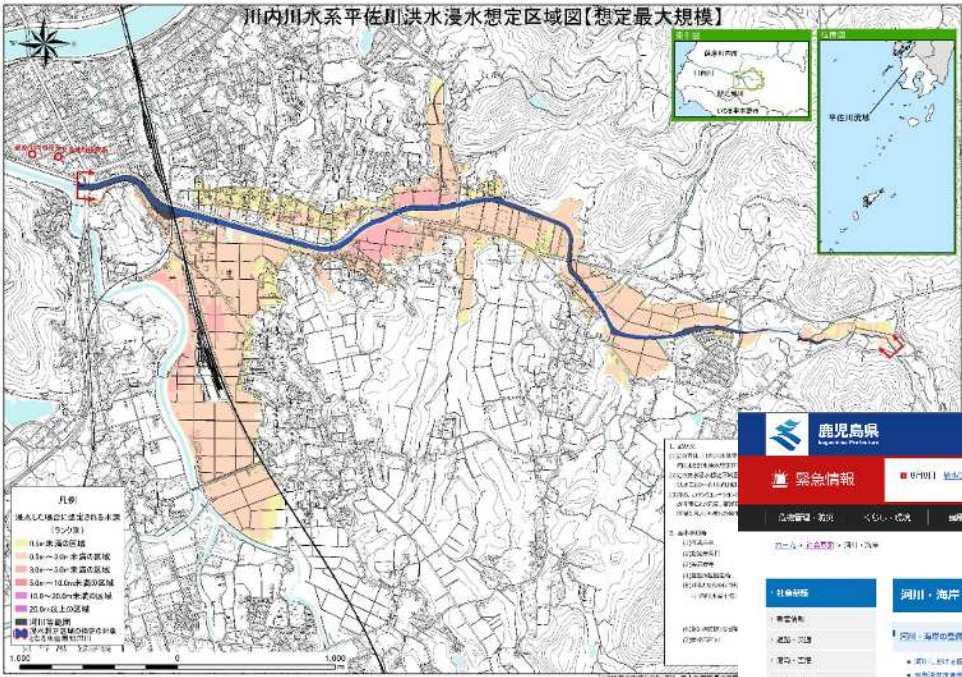
洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



洪水浸水想定区域図のイメージ

鹿児島県 緊急情報

河川・海洋

水害

県HPで公表予定

浸水想定区域図(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

その他水系流域治水プロジェクト

～被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 ハザードマップ関連～

防災ハザードマップの作成・公表【南さつま市】

防災ハザードマップの公表

【目的】

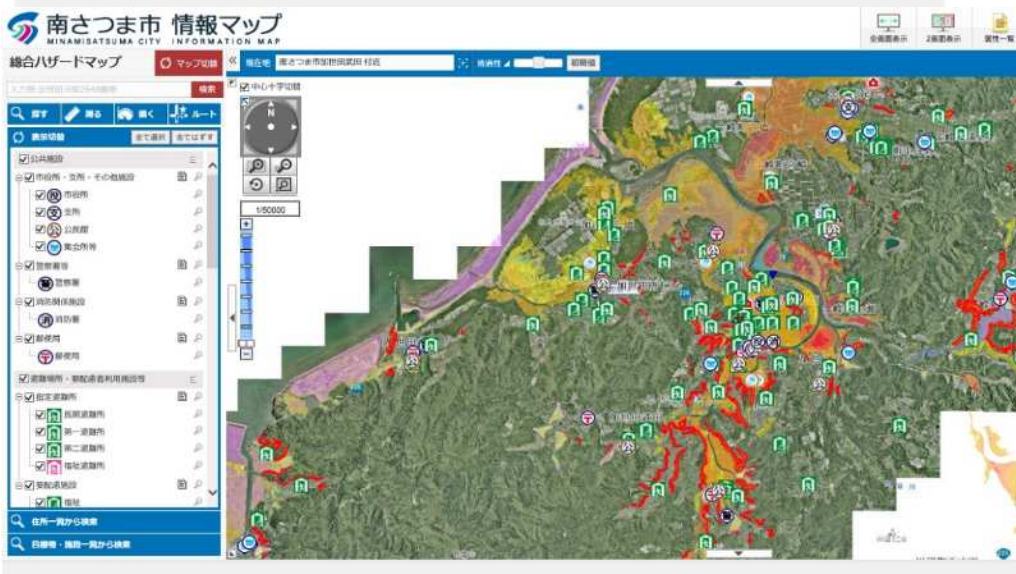
万之瀬川水系万之瀬川、加世田川の破堤による氾濫等の浸水情報、土砂災害警戒情報や地震による津波浸水情報等と住民避難情報を市民向け公開型GISで提供することで市民サービスの向上、防災意識の向上を図る。

【公表方法】

- ・A4冊子 21,000部(市内全世帯配布)
- ・住民公開型GIS(パソコン、スマートフォン等)による閲覧

【提供情報】

- ・指定緊急避難場所、指定避難所
- ・洪水浸水想定区域
- ・土砂災害警戒区域
- ・津波浸水区域
- ・金峰ダム浸水区域
- ・市道網図 等



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ関連	南さつま市情報マップの公開	南さつま市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池マップ公表，ため池ハザードマップ作成【南九州市】

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

【経緯】

今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置を住民に知っていただくため、南九州市内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

(令和4年4月末時点)

農業用ため池の総数

1箇所

防災重点ため池

1箇所



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの作成・公表	南九州市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ハザードマップの更新、情報伝達手段の多重化への取組み【枕崎市】

【近年の災害状況】

近年は、線状降水帯による長期の大雨や局地的なゲリラ豪雨など記録的な大雨により、急激な河川の増水や低い土地での浸水被害など、これまでなかったような被害が全国で起きている。今までは大丈夫だったという意識から、なかなか避難しようとならない、あるいは避難が遅れてしまうケースが想定される。

【取組状況等】

本市では、総合防災マップを令和元年度に作成しているが、その後も土砂災害警戒区域等の追加、市内河川の水位状況による警戒態勢や避難のタイミングなどを記載したものに更新する。また、防災情報を住民に確実に伝達し、早期避難を行うため戸別受信機の設置促進、登録制防災メールの登録促進を行うとともに、避難時は避難所の混み具合がわかるシステムを活用し、混雑を避け、スムーズな避難が行われるよう周知・活用を促進する。



○土地のリスク情報の充実・提供 総合防災マップの修正・更新 (令和6年度以降)

- ・土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の情報更新
- ・地区ごとのハザードマップ(拡大版)の作成(より見やすく、わかりやすく)
- ・市内河川の水位情報の周知と警戒態勢についての情報を新たに記載する。

○防災情報、避難体制の検討、連携強化

- 防災情報の伝達手段の多重化を図り活用を促進
- ・防災行政無線戸別受信機の設置促進(補助制度あり)
- ・登録制防災メールの登録促進(R7目標:20%以上)
- ・避難所可視化システムの周知、活用の拡大



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地リスク情報の充実 避難所情報の充実	総合防災マップの更新 避難所可視化システムの周知	枕崎市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

樋門等操作の実地講習会開催【南九州市】

樋門位置図



●樋門等操作の実地講習会

河川増水時に備えるための日常の点検と操作手法の確認を管理受託者を行う。

樋門操作講習会



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	樋門等操作の実地講習会開催	南九州市			

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報(洪水浸水想定区域や浸水実績)について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表(R3.2月末より運用)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	関係市町、鹿児島県			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援【鹿児島県、関係市、気象庁】

逃げキッド
マイ・タイムライン 検討ツール

余裕を持って安全に避難するために。
マイ・タイムラインをつくって、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインがあると
3日前
マイ・タイムラインには、情報を集めるってかいてあるよ！
マイ・タイムラインには、情報を集めるってかいてあるよ！
マイ・タイムラインには、情報を集めるってかいてあるよ！

マイ・タイムラインがないとき
1日前
避難発生
避難発生
避難発生

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村 地区 家 マイ・タイムライン 作成年月日 年 月 日

5～3日前
2日前
1日前
半日前
5時前

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

台風が発生
台風が近づいて、雨や風がどんどん強くなる
雨が降って、川の水がだんだん増える
激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる
川の水がいっぱいであふれそう！

主なそなえ
家族2で防災用セットで、シールを貼ってみよう！オリジナルのイラストも書いてみよう！

そなえの例
○台風の今後の動向を調べる
○避難分の薬を病院に受け取りに行く
○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
○テレビ、インターネット、携帯電話等で雨や川の様子に注意
○避難する時に持っていくものを準備する
○家族と連絡を取りあう
○休んでいるところと上流の雨量を調べ始める
○携帯電話の充電
○イザードマップで避難場所、避難手段を再確認
○川の水位を調べ始める
○通行止め情報がないか、インターネットで確認
○携帯電話等で避難準備情報の受信
○避難しやすい服装に着替える
○携帯電話等で避難勧告

水位等の状況を把握して、避難行動を開始する時期
最悪の安全を確保するまで

今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい
住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県、関係市、気象庁			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、関係市】

地域の防災 リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による 地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



てく・てく歩こう～

参加人数
240人



その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修、出前講座等	鹿児島県、関係市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

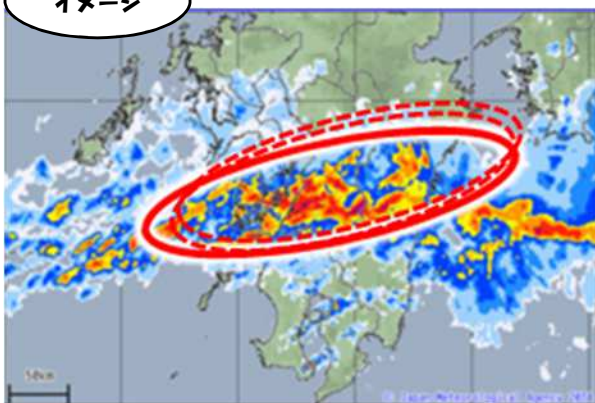
令和5年5月25日13時～

顕著な大雨に関する気象情報を「より早く」提供します

現在は、線状降水帯の**発生**をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しているところ、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指し、最大30分程度前倒して「顕著な大雨に関する気象情報」を発表。

同時に気象庁ホームページに線状降水帯の発生範囲を表示

イメージ



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分後の解析）

令和5年2月16日運用開始

洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」（水害リスクライン）

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」（洪水キキクル）

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民がそれぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ（気象庁HP）で一元的に確認可能に

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応（教材は気象庁HPで公開）
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル

－ 10分で防災 －



福岡管区気象台HP（教材はこちら）

<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>

10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきると思いますか？

何が起きる
ここに色々
書いて
ください！

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何が起きる
どう行動をする
今度は、ここに
書いてください！

ステップ2 話し合う

他人の考えを聞いて、新たな
「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところにひきよめる
雨がたきんふる	進路などはあくしおく
土砂くずれ	水、食べものを準備しておく
高潮 川 暴風	高いところへいく

ステップ3

振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。
用水路や道路のマンホール。
普段は何でもない場所が、
突然の大雨で、命を落とす場
所に変わることがあります。
「自分の身は自分で守る」と
いう意識を身につけましょう。

起きる災害
を考える



自分の行動
を考える



行動を
話し合う



各班の意見を
みんなで
聞きましょう



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県、関係市】

個別避難計画作成

- ・ 市町村においては、災害対策基本法に基づき、避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており、本県では、全市町村が作成済となっている。
- ・ 当該名簿については、本人の同意を得るなどし、市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており、市町村において取り組んでいるところ。
- ・ また、市町村は、名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに、個別避難計画を作成することとしており、令和4年4月1日現在の作成状況は、対象者全員が8団体、一部の対象者が31団体、未作成が4団体となっている。
- ・ 県では、引き続き、市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして、名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・ これらを踏まえ、市の努力義務となっている個別避難計画の作成について、流域治水プロジェクトにおいても、あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	・個別避難計画策定支援	関係市			

その他水系流域治水プロジェクト

～被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 水防災意識の醸成～

総合防災訓練の実施・防災研修会の開催【南さつま市】



防災訓練の実施

【目的】

南さつま市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が一体となった訓練を実施し、発災時の応急対応、住民の防災意識の高揚を図る。

【訓練場所】

毎年度 9月開催 加世田地域、笠沙地域、大浦地域、坊津地域、金峰地域の隔年開催

【参加団体】

市、消防、消防団、地域住民、市内事業所、警察署、自衛隊、関係機関 等

防災研修会の実施

【目的】

防災意識の普及啓発と自主防災組織の育成・強化を図る。毎年度1～2回開催

市内:82組織 組織率:89.3%

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水防災意識の醸成	・総合防災訓練の実施、自主防災会等を対象とした研修会の開催	南さつま市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

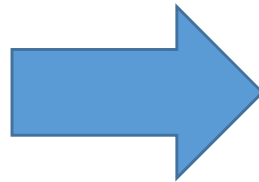
地域住民における自主防災組織等の強化【南九州市】

地域の課題

人口減少，高齢化

近年の災害

激甚化，長期化



地域防災力の向上（自助・共助）

大規模災害が発生した場合，いかに地域で対処するか。

【取組状況】

毎年，6月に自主防災組織リーダー育成研修会（地区防災計画作成等）を，9月に消防団，自主防災組織，その他関係機関と合同の市総合防災訓練を実施。



自主防災組織リーダー育成研修会



市総合防災訓練

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報，避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	南九州市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

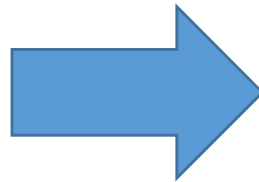
避難態勢の強化【南九州市】

地域の課題

人口減少，高齢化

近年の災害

激甚化，長期化



地域防災力の向上（自助・共助）

大規模災害が発生した場合，いかに住民の安全安心を確保するか。

【取組状況】

災害時には市内各地域に避難所を開設するが，定員を満たし避難できない事例があったことから，開設状況や避難者数をリアルタイムにネット環境にて確認できるシステム構築。

効果としては，最寄りの避難所確認や，避難所の増設時期の見極めなどが期待できる。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難所開設の迅速化	避難所開設報告システムの構築	南九州市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

自主防災組織による地域の自助・共助の推進【枕崎市】

○ 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化(地域の防災力向上)

実働する自主防災組織を目指して、自主防災訓練の実施を推進。⇒住民の自助・共助を強化することにより、地域全体の防災力、避難体制を向上。

- ・県防災アドバイザーによる出前講座の活用
- ・自主訓練等の準備・計画段階での市職員の派遣
- ・地区防災計画の作成に向けて市からの助言等

- ・地域防災リーダーの育成
- ・市防災研修会による知識の習得と災害に対する備えの実践
- ・児童生徒に対する防災教育の実施



枕崎市内の自主防災組織結成数等(令和5年4月1日時点)

- ・結成公民館等 68公民館 未結成公民館数 6公民館
- ・自主防災組織の組織率 97.61%(市全世帯に対する結成地域の世帯割合)
- ・馬追川流域にある自治公民館数 4公民館
- ・尻無川流域にある自治公民館数 5公民館

実働する自主防災組織を目指して ⇒ 自主防災訓練の促進, 県防災アドバイザーの派遣, 地区防災計画の作成支援等

小中学校への出前講座の実施 ⇒ 教育委員会との連携し, 防災に関する授業を組み込めないか。「避難訓練等の講話」や「備蓄食料等提供時の講話」など, 防災に対する意識を高める取組みを行っていく。

河川流域の浸水災害等を想定した避難訓練を建設業組合, 電気業組合, 医師会等, 関係機関との連携を図った訓練を実施する。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	枕崎市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

避難所の安全性の検証及び避難所機能の整備【枕崎市】

○ 本市の避難所は、第1避難所8施設、第2避難所10施設を指定しているが、施設の老朽化により大規模改修をする時期に差し掛かっている。このため、通常よく使用する第1避難所については、この改修に合わせて防災機能の充実を図り、施設の安全性と避難所としての機能を高め、より快適に避難できる環境を整備する

【立神センターの改修】



トイレの洋式化



スロープ・
手すり設置



非常用電源の設置



シャワー室の設置

【第1避難所の改修】

第1避難所8施設のうち、5施設は地区公民館である。その中の立神センターは、馬追川流域に位置しているが、令和3年度に改修工事を行い、非常用電源として発電機の設置、段差の解消、トイレの洋式化、防災備品等を収納するスペースの確保などを行った。

令和4年度は市民会館の改修工事に合わせて防災機能の充実を図っている。このように、第1避難所においては、避難者が安心して使いやすい施設にするため、施設を所管する部署と協議を重ね、年次的に改修を行っていく計画である。



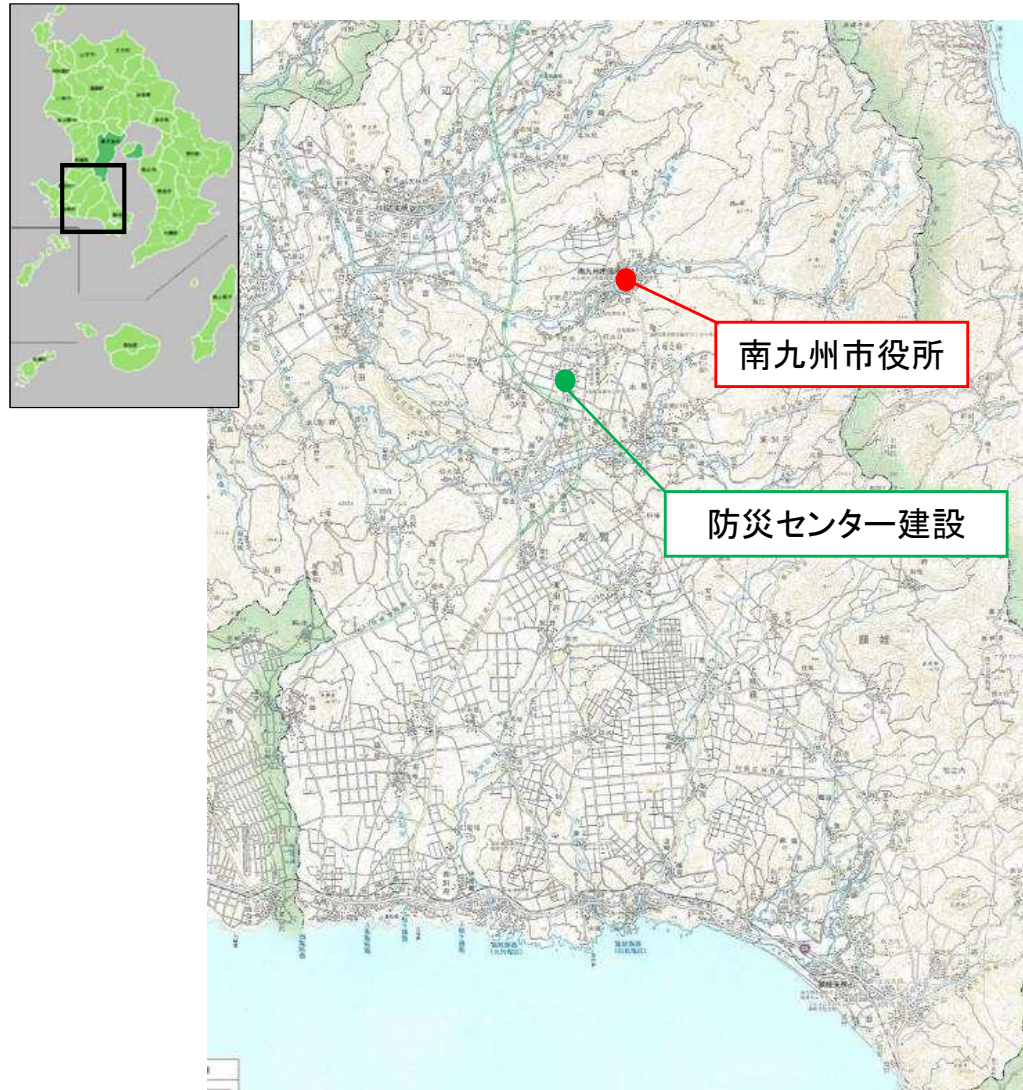
防災用備品収納スペースの確保

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	避難所の安全性の検証及び避難所機能の整備	枕崎市			

その他水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災センターの建設【南九州市】



防災センターの建設

【目的】

集中豪雨や台風などの災害が激甚化、頻発化する中、南九州市の防災に関する中核拠点として、地域防災力の向上を図るとともに、発災後の住民の速やかな安全の確保、及び災害対策対応力の強化など災害に強いまちづくりを推進するため整備を進める。

【機能】

・防災会議室、研修室兼緊急避難所、備蓄倉庫、防災倉庫等

【建設予定時期】

・令和7年～8年
(地質調査・設計・建築)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域防災力の向上 (災害拠点対策施設整備)	防災センター建設	南九州市			